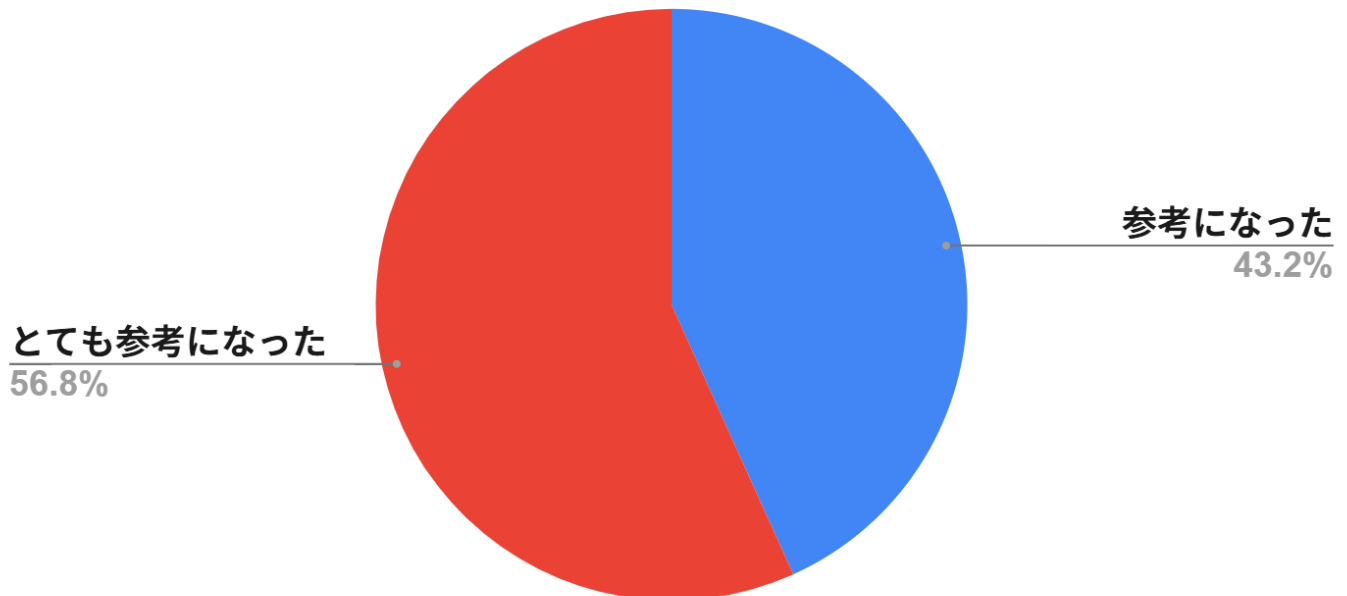


# 令和8年5月22日(金) 栄養部会研修アンケート結果

高田 健人先生 ご講演

「老健管理栄養士のこれから-次期介護報酬改定と一体的取組の推進を見据えて-」  
終了後のアンケート結果。(回答者 37 名)

質問1：本日の講演は参考になりましたか？」37件の回答



質問2：参考になった理由・感想などご記入下さい

- ・ 今後の業務、次期介護報酬改定に向け注視していく内容等を理解する事ができました。
- ・ 現在の診療報酬の方向性から私たち管理栄養士が何を求められているのかを知ることができてよかった。
- ・ 当施設では、まだ、一体的取組みはできていないが、リハマネ計画書情報加算を取ろうと言う話が上がっているようなので、どのようなコンセプトの加算なのかが分かってよかった。
- ・ 老健の NCM としては、口から食べる楽しみの支援が大きな目標であることを改めて確認できてよかった。
- ・ 一体的な取り組みが必要だと思いますが、現状は難しいと思った。
- ・ 現場での実施の難しさもありますが、実施している施設の事例など聞いてみたいと思いました。
- ・ 多職種連携がますます必要になってくると感じた。
- ・ 栄養ケアマネジメントについて、当施設多職種に説明できる。リハ・栄養・口腔の一体的取組みについても大切なのはわかっているが、なぜ大切か理解が深められた。
- ・ 低栄養の評価方法の復習、リハマネ計画書情報加算の一体的取り組みについて学ぶきっかけとなった。

- ・ 介護報酬改定の前年に研修させていただいたので、気持ち的にも少しゆとりを持ってお聴きすることができました。LIFE についての感想も、高田先生と共通するものがあり、ホッとした。
- ・ 嚥下調整食のや GLIM 基準の動向を注視したいと思った。

### 質問 3：本日の講演での新たな学びや、今後の業務で活用できる内容をご記入ください

- ・ 忙しい日々においても、入所者の方一人一人に寄り添って仕事をしたい。
- ・ 病態の理解だけでなく誰に、何のために、どのように行うかを考え続ける事が大切だというメッセージは大事にしたいと思った。疾病と病いの違いの話はとても興味深かった。
- ・ 介護施設の管理栄養士として、国の目指す方向や世間・世界の動向やニーズをキャッチしながら、加算を取れる体制を整えることや対象者の為になることを考えながら仕事に当たりたい。
- ・ 口腔ケアはもう少し力を入れた方が良いと思った。
- ・ 来年の介護報酬改定の前情報をふまえて、自施設で色々検討していこうと考えています。
- ・ 介護での現場として、病態とご利用者の希望の間でもやもやすることが多いが、今日のお話でどの現場でも悩み、対人援助であることを改めて考えるきっかけとなった。
- ・ カンファレンスの仕方や情報共有を密にしていきたいと思います。
- ・ LIFE のフィードバックの活用や、一体型の取り組みなど悩んでいた事に関して
- ・ 加算をとることに意識がいつてしまうが、栄養ケアマネジメントを行う目的を忘れないようにしていきたい。
- ・ 栄養マネジメントを他職種に継続的に知らせていくことが、大切。
- ・ 特別食加算が、療養食と嚥下食の同時算定が不可ということを学んだ。
- ・ 嚥下調整食に沿った食形態となっているか、他職種との共有・確認をしていきたい。
- ・ GLIM 基準を今後どう活用するのか気になっていたもので、予測が聞けて参考になりました。筋肉量の測定を実施したい。

- ・ 老健の機能として利用者様の安全と尊厳を両立して守ることが難しいことであると感じたが実現に向けて試行錯誤していきたい。
- ・ 施設内での管理栄養士業務の共有のため、勉強会の実施を検討したい。また、一体的取組の加算の算定のため動いていきたい。
- ・ 多職種によるミールラウンド&カンファレンスを開始して、8年は経過するが、個々の利用者さんに、成果として還元されているのか疑問もあり、高田先生のお講義を拝聴し、改めて運営方法や帳票類のシンプル化、評価結果の出し方など、再検討したいと強く思った。
- ・ 業務時間調査のグラフが興味深く、現在の業務改善に活用できそうだった。

以上